

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
14冊(13人) 6/16 現在

文責 校長 宮脇 真一

一月前の通信（第5号）で、サクラソウの種を紹介しました。1ミリにも満たなかった種が発芽し、2センチほどの苗になりました。右の写真は校務の渡邊先生が1本1本の苗をピンセットを使って、連結ポットに移植されたものです。

この苗が、最終的には高さ20～30センチになり、きれいな白い花、赤い花を咲かせるのは来年の春。6年生の卒業、在校生の進級の時期です。子どもたちの成長とともに伴走するサクラソウの成長も、折々で伝えていきます。

着々と伸びるサクラソウ
(令和4年6月16日 撮影)

～夢中で学び、高め合う児童をめざして～（本校研究テーマ）

学校には「校内研修（通称：コウナイケン）」という業務があります。校内研修は、学校の教育活動の7割の時間を占める授業について、子どもたちにとって最適な学習環境をどのように作り出すか、先生たちが学び合う大切な場です。

大津小学校では、毎週水曜日の6時間目から放課後の90分間、先生たちの研修を位置付けています。研究主任の辻先生、人権教育主任の河内先生を中心に、教科指導の内容や人権教育、情報教育、性教育、健康教育、安全教育など内容は多岐にわたります。とりわけ教科の授業研究は其中最も多く取り組みますが、本校では全ての教育活動の根底に人権教育を置くことから、授業研究においても人権教育の視点は常に大事にしています。いずれにせよ、児童を学びに誘う（いざなう）ためには、先生たち自身が学び続ける必要があります。大津小学校の先生たちは、とても熱心に学んでいます。ですから、水曜日の下校後、午後4時40分までの時間帯は、火急の用事でない限り電話対応等は控えて研修するよう私から各先生方に伝えていきますので、どうぞ御理解下さい。

さて、今週は、6年2組の谷口先生が子どもたちとともに授業を公開してくれました。内容は国語の説明文。「高校野球の投手が延長13回、232球投げ抜いた」という記事に対する様々な立場のコメントを読み比べ、自分の文章に生かすという内容でした。45分間、谷口先生と子どもたち、グループの中で子どもたち同士の対話は実にリズミカルで、「夢中で学び、高め合う」姿そのものでしたし、外部指導者として招聘した熊本大学の北川准教授からも、「わかんないんだけど、、、」と言いながら意見を出し合う（聴き合う）姿から、子どもたちが相手を大事にしながら、日々の学習をいかに充実したものにしているか価値づけさせていただきました。



先生たちも勉強中

命を守る行動について。

来週は、雨模様でありながら気温も上がる予報とのこと。感染症予防と同時に熱中症への備えも必要になってきます。どちらにも共通するのは「命を守る」ということ。自分の体調は自分が一番分かります。HPに掲載したガイドラインにもあるように、屋外や体育の学習時は、命を守るためにマスクを取ることも可能であることを伝えていきます。状況に応じた判断ができる子どもにしていきたいですね。

吉岡英一先生 着任！

先週の徳淵先生に続いて、吉岡先生が15日から着任されました。ひまわり2を担当されます。よろしくお願いします。



吉岡先生